## インフルエンザHAワクチン予防接種予診票

任意接種用

*接	<b>種希望の方へ:太ワク内</b> にご記入 <sup>-</sup> 3子さんの場合には、健康状態をよく指	下さい。 巴握している保護者がご		ſ		前の体			ß	ŧ		分
住	所						TEL	(	)			Microsoph Microsoph
(	(フリガナ) (				)			明治・	大正・	昭和	<ul><li>平成。</li></ul>	 令和
受	する人の氏名					男•	生年	左	Ę	月		日生
(保	護者の氏名)					女	月日	(清	专	苈	贡	カ月)
	質問事	項				答		欄			医師	記入欄
1.	今日受ける予防接種について説 理解しましたか。	明文(裏面)を読んで	しいいき	<b></b>					は	い		
2.	今日受けるインフルエンザHAワ 今シーズン1 回目ですか。	クチンの予防接種は		 え( )接種(		) [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []		<b>日</b> )	は	い		
3.	今日、体に具合の悪いところが	ずありますか。	はい	27 141500 10150000000000000000000000000000				)	()(	ハえ		
4.	現在、何かの病気で医師にかか	っていますか。	はい	病名	<u> </u>			)	()(	ハえ		
	<ul><li>その場合、治療(投薬など)を受ける</li><li>その病気の主治医には、</li></ul>	ナていますか。	はい・	いいえ								
	今日の予防接種を受けてもよいと	と言われましたか。	はい・	いいえ								
5.	最近1ヵ月以内に病気にかかり	ましたか。	はい	病名(				)	CIC	え		
6.	これまでに特別な病気(心臓血血液疾患、免疫不全症、その化医師の診察を受けましたか。		はい 病名(					)	CIC	え		
7.	これまで間質性肺炎や気管支喘 と診断され、現在、治療中です	息等の呼吸器系疾患 か。	はい( (現在)	治療中	) 年		いな	)月頃 い)	()(	え		
8.	これまでにひきつけ(けいれん) りますか。	を起こしたことがあ	はい( 最後は			]ぐら 年(	し)	)月頃	いい	え		,
9.	薬や食品(鶏卵、鶏肉など)でがましんが出たり、体の具合が続りますか。	支膚に発しんやじん 悪くなったことがあ	はい 薬また (	は食品	品の名	前		)	しいして	え		
10.	近親者に先天性免疫不全と診断さ	された方がいますか。	はい						しいい	え		
11.	1ヵ月以内に家族や周囲で麻し おたふくかぜなどにかかった方		はい 病名(					)	しいして	え		
12.	1ヵ月以内に予防接種を受けま	したか。	はい	予防接	種の種	類(		)	しいし	え		
13.	これまでに予防接種を受けて具がありますか。	合が悪くなったこと	はい (	予防持	種名	• 症 <sup>&gt;</sup>	伏	)	しいしい	え		
14.	(女性の方に)現在妊娠していま	すか。	はい						しいい	え		
15.	(接種を受けられる方がお子さん 分娩時、出生時、乳幼児健診などで		はい 具体的	に(				)	しいしい	え		NAME AND ADDRESS OF THE PARTY O
16.	その他、健康状態のことで医師 ことや質問があれば、具体的に									- Name		
本人	<b>「の記入欄:</b> 以上の問診及び診察の (もしくは保護者)に対して、予防接種 行政法人医薬品医療機器総合機構法に	の効果、副反応及び			わせる	3) <b>E</b>		電名又は、串 名				
医師性な	する。 すの診察・説明を受け、予防接種の交 などについて理解した上で、接種を考	効果や目的、副反応の可 発望しますか。	」能 本	人の署	署名(も	56<	は保	護者の氰	署名)			
	(接種を希望します・接種を希望		(*	自署でき 代筆者氏	ない者 名及び	は代筆る 被接種を	者が署名 者との約	3し、 続柄を記載	。続柯	5		)
	使用ワクチン名	用法·用量			Maria de Maria de Caracterio d	STATE OF THE STATE		師名。		2163,680,69102	月日	
イン	フルエンザHAワクチン Lot. No				包場)			ミレクリ			, u U	
	] デンカ株式会社	□ 0.5mL (3歳以	以上)			名:	-	串伊		-		
カル	テNo.	□ 0.25 m L (6ヵ月以	上3歳未満)	接租	年月	<b>П</b> :			Ŧ		3	

# インフルエンザHAワクチンの予防接種について

インフルエンザHAワクチンの予防接種を実施するにあたって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、表面の予診票に出来るだけ詳しくご記入下さい。お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者がご記入下さい。

#### 〔ワクチンの効果と副反応〕

予防接種により、インフルエンザ感染を予防したり、症状を軽くすることができます。また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防することが期待されます。

一方、副反応に関して、過敏症として発疹、じんましん、湿疹、紅斑、多形紅斑、そう痒、血管性浮腫が報告されています。接種部位の局所症状として、発赤、腫脹、硬結、熱感、疼痛、しびれ感、小水疱、蜂巣炎が報告されています。精神神経系として、頭痛、一過性の意識消失、めまい、顔面神経麻痺等の麻痺、末梢性ニューロパチー、失神・血管迷走神経反応、しびれ感、振戦が報告されています。消化器系として、嘔吐・嘔気、腹痛、下痢、食欲減退があり、筋・骨格系として、関節痛、筋肉痛、筋力低下が報告されています。その他の副反応として発熱、悪寒、倦怠感、リンパ節腫脹、咳嗽、動悸、ぶどう膜炎が報告されています。強い卵アレルギーのある方は、強い副反応を生じる可能性がありますので必ず医師に申し出て下さい。

非常にまれですが、次のような重大な副反応が起こることがあります。①ショック、アナフィラキシー(じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など)②急性散在性脳脊髄炎(ADEM):通常、接種後数日から2週間以内に(まれに28日以内に)発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害などがあらわれる ③脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎 ④ギラン・バレー症候群(両手足のしびれ、歩行障害など)⑤けいれん(熱性けいれんを含む)⑥肝機能障害、黄疸⑦喘息発作⑧血小板減少性紫斑病、血小板減少⑨血管炎(IgA血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、白血球破砕性血管炎など)⑩間質性肺炎⑪皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、急性汎発性発疹性膿疱症 ⑫ネフローゼ症候群

上記の症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師に申し出て下さい。なお、健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた人または家族が、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

#### 〔予防接種を受けることができない人〕

- 1. 明らかに発熱のある人(通常は37.5℃以上の人)
- 2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- 3. 過去にインフルエンザHAワクチンの接種を受けて、アナフィラキシーを起こしたことがある人 なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした人は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いで下さい。
- 4. その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した人

### 〔予防接種を受けるにあたり、医師とよく相談しなければならない人〕

- 1. 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人
- 2. 発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている人
- 3. カゼなどのひきはじめと思われる人
- 4. 予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う異常がみられた人
- 5. 薬の投与又は食事 (鶏卵、鶏肉など) で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことのある人
- 6. 今までにけいれんを起こしたことがある人
- 7. 過去に本人や近親者で検査によって免疫状態の異常を指摘されたことのある人
- 8. 妊娠の可能性のある人
- 9. 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患のある人

#### 〔予防接種を受けた後の注意〕

- 1. インフルエンザHAワクチンを受けたあと30分間は、急な副反応が起きることがあります。医療機関にいるなどして、様子を観察し、医師とすぐ連絡をとれるようにしておきましょう。
- 2. 接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- 3. 接種当日は、接種部位を清潔に保ち、普段通りの生活をしましょう。激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- 4. 万一、高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。

あなたの接種予定日			医療	機関名	
月	日()	です			
当日は受付に	時	分頃	おこし下さい		

インフルエンザHAワクチンの任意の接種については、ワクチンを適正に使用したにもかかわらず、その副反応により入院治療が必要になるほど重篤な健康被害が生じた場合は、健康被害を受けた人又は家族が独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて、救済手続きを行う制度があります。詳しくは独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページをご覧ください。問合せ先は右記のとおりです。

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 救済制度相談窓口 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

電話:0120-149-931(フリーダイヤル)

URL: https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0020.html